

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公表番号】特表2009-502199(P2009-502199A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-525094(P2008-525094)

【国際特許分類】

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

【F I】

A 0 1 H 5/00 Z

A 2 3 K 1/16 3 0 1 F

A 2 3 K 1/16 3 0 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

平均で少なくとも68%のオレイン酸(C18:1)、および3%未満のリノレン酸(C18:3)を有する黄色外皮の種子を産生するキャノーラ植物。

【請求項2】

種子が、NIRによって測定した場合に乾物ベースで11%より低い酸性デタージェント繊維を有する、請求項1記載の植物。

【請求項3】

種子が少なくとも43%の油を含む、請求項1記載の植物。

【請求項4】

種子が少なくとも45%のタンパク質を含む、請求項1記載の植物。

【請求項5】

種子が、NIRを用いて測定した、乾物ベースで少なくとも43%の油および少なくとも45%のタンパク質を含む、請求項1記載の植物。

【請求項6】

1ヘクタールあたり平均で少なくとも1700 kgの種子を産出する、請求項1記載の植物の圃場。

【請求項7】

請求項1記載のキャノーラ植物によって産生された種子。

【請求項8】

請求項2記載の種子から生長した植物。

【請求項9】

平均で少なくとも68%のオレイン酸(C18:1)および3%未満のリノレン酸(C18:3)を有する黄色外皮種子を産生する、請求項8記載の子孫植物。

【請求項10】

PTA-6806およびPTA-6807から選択されるATCC寄託番号において入手可能である、請求項1記載のキャノーラ植物によって産生された種子。

【請求項 1 1】

請求項7記載の種子のミールを含む動物飼料。

【請求項 1 2】

遺伝子操作および変異誘発を行わずに産生された、請求項1記載の植物。

【請求項 1 3】

請求項1記載の種子から産生されたキャノーラミール。

【請求項 1 4】

少なくとも2400の真の平均代謝エネルギーを有する、請求項13記載のミール。

【請求項 1 5】

表21において示されるアミノ酸消化率プロフィールを有する、請求項13記載のミール。

【請求項 1 6】

種子が低減された抗栄養成分を有する、請求項1記載の植物。

【請求項 1 7】

種子が、1.3%未満のフィチン酸含量、2%未満の酸性デタージェントリグニン含量、および17%未満の中性デタージェント繊維含量を有する、請求項16記載の植物。

【請求項 1 8】

47%～54.7%のタンパク質を含む、請求項13記載のキャノーラミール。

【請求項 1 9】

43.6%～48%のタンパク質を含む、請求項13記載のキャノーラミール。

【請求項 2 0】

46.4%～52.8%のタンパク質を含む、請求項13記載のキャノーラミール。

【請求項 2 1】

47%～50.3%のタンパク質を含む、請求項13記載のキャノーラミール。